

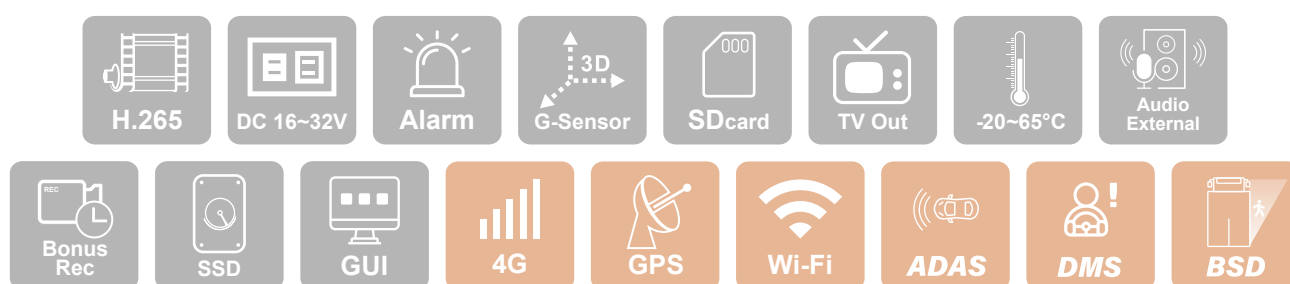
車載監視録画システム

12CH H.265 1080

取扱説明書



2025 JAN. V1.0



(オプション)

使用上の注意事項

まず試しに録画と再生をして、正常に操作できるか確認してください。

本製品の付属品、メモリーカード等の故障で引き起こした録画不可や映像を読み込めない現象は弊社とその関連機関、販売店は一切責任を負いません。

本製品を使用する前に、まず以下の安全注意事項をご確認ください。

その上、正しい方法で操作することをご確認ください。

- 本製品を児童や幼児が届かない場所に保存してください
 - 記載された電源のみを使用してください
 - 本製品を解体、改造や熱を加えないでください。
 - 本製品を地面に落とすなど衝撃を与えないでください
 - 怪我をしないために、製品の破損したところを触らないでください
 - 煙が出たり、異臭がしたりなどの異常を発見した場合、すぐに使用をやめてください
 - アルコールやベンゼン、シンナーなどで製品を拭かないでください
 - 本製品を水（海水など）や他液体に接触させないでください。
 - 液体や異物を製品に入れないでください
 - バッテリーを熱源や火に近づけないでください
 - 濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。
 - 本製品を指定の電圧以外の電源や線路に繋げないでください。
 - 破損したケーブルやコンセントを使用しないこと、コンセントに完全に挿入しないことをご注意ください。
 - 端子とプラグを金属（針や鍵など）や汚れに接触させないでください。
 - 湿度が高く埃が多い場所で使用、設置や保存しないでください。
-
- 本製品は認証を取得したLPD電器であり、許可なしにその出力仕様や機能に元の設計にない変更を加えてはならない。
 - LPD電器の使用は飛行の安全や通信を干渉してはならない。干渉の現象が発見された場合、すぐに使用を止め、干渉しないように改良しなければならない。
 - 前項で述べた通信は、法律で定められた無線通信を指す。LPD電器は通信や工業、化学及び医療用電波放射性設備の干渉を耐えられなければならない。
-

目次

使用上の注意事項.....	-
A. 製品構成	2
B. 製品外観	6
C. 装置の起動と装置電源を落とす	8
D. システムメニューと操作	9
E. PC プレイヤー	22
F. フォーマット	28

取扱説明書

A. 製品構成

本製品の構成は以下の通り：

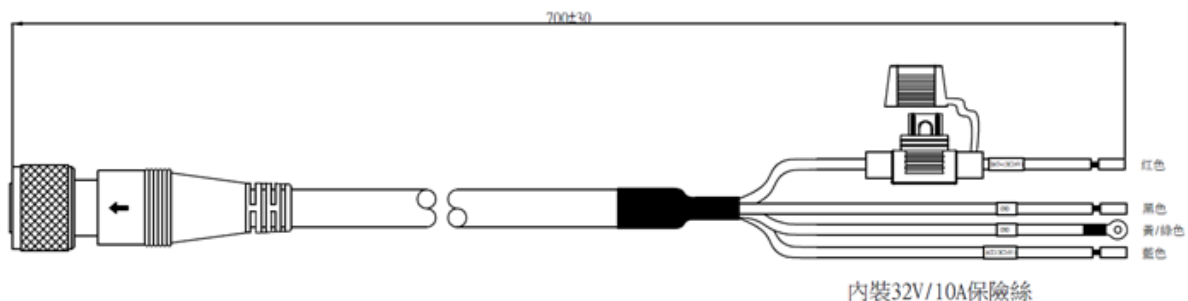
・標準付属品：

本体/電源ケーブル/ RJ45ランケーブル
VGAケーブル/ USBケーブル/ALARMケーブル
ビデオケーブル* 6 (2CH) /
CVBS OUT (音声入力/出力付き) ケーブル
GPSケーブルとRS-232ケーブル/GPS
リモコン(バッテリー付き)/アンテナ
アンテナ延長ケーブル

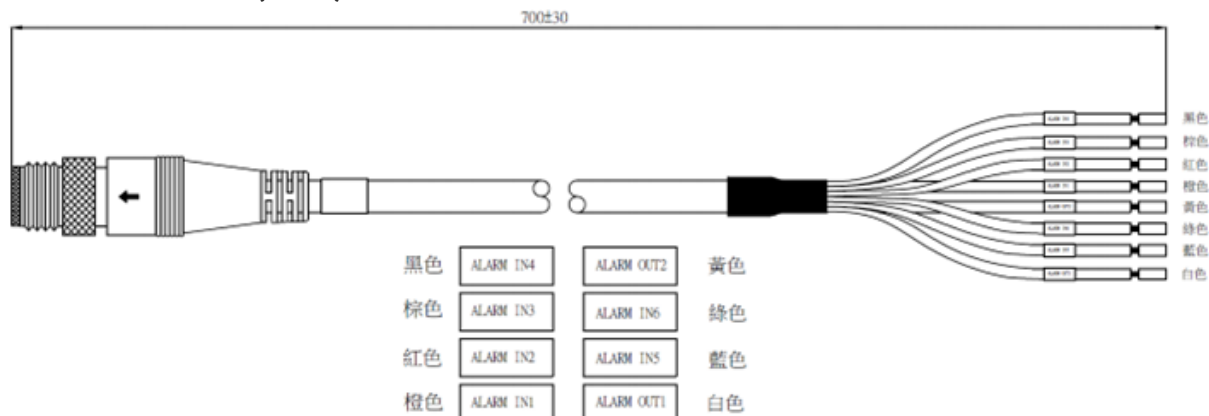
・オプション：

スピーカー/カメラ延長ケーブル/マイク/メモリーカード/ SSD/モジュール

・電源ケーブル (標準)



・アラームケーブル (標準)

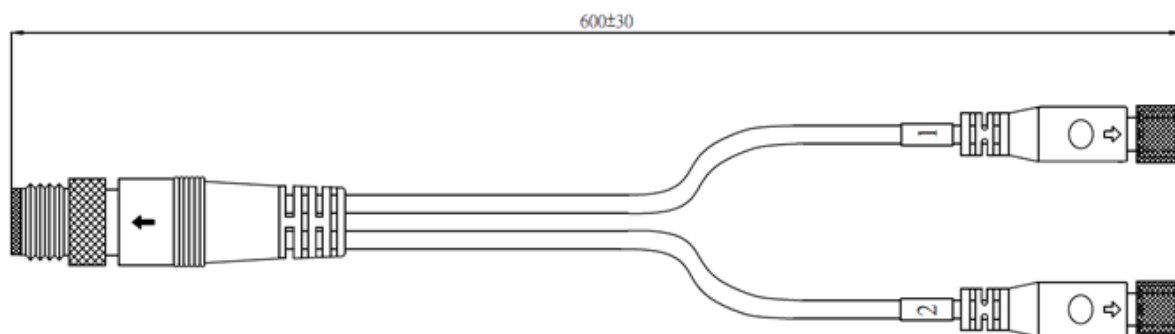


ADASシステム搭載時: ALARM IN3 左ウィンカーをトリガーに接続してください。

アラーム IN4 右ウィンカーをトリガーに接続してください。

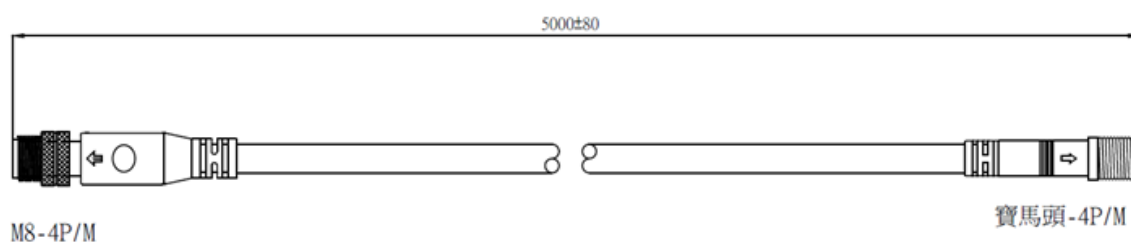
取扱説明書

- ・カメラケーブルセット (標準6セット): 1セットは2台のM8-4Pカメラを接続できる

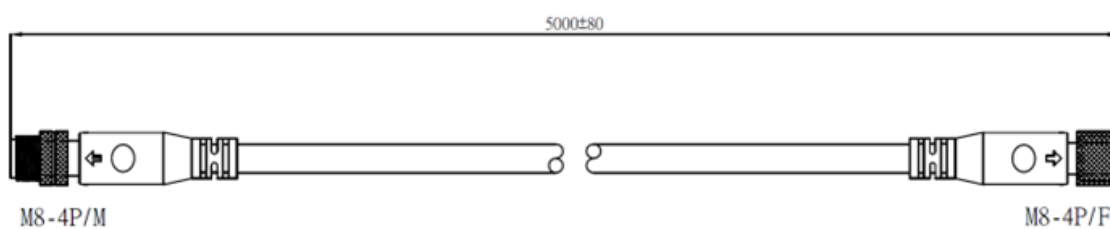


- ・カメラ延長ケーブル (オプション): ご使用のカメラの種類と必要な長さに応じて別途ご購入ください。

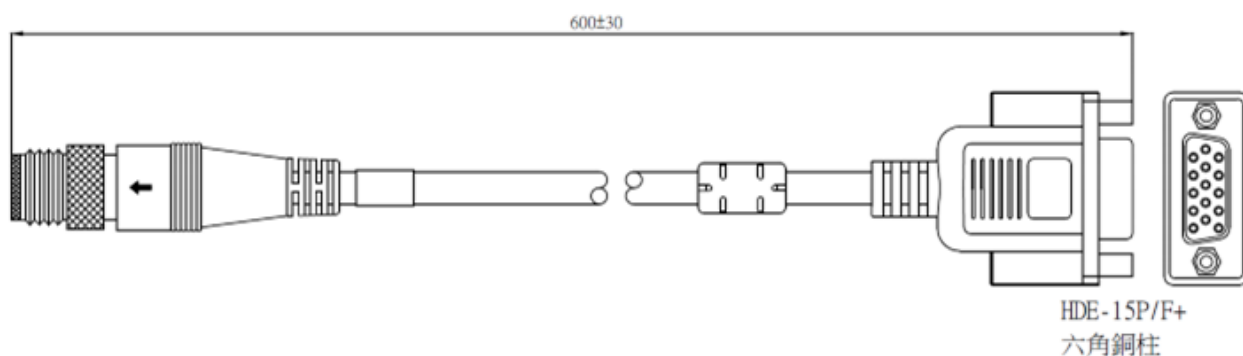
A (Micro din LOCK カメラ) (オプション): M8→Micro din (Micro din LOCK)
長さ: 5M、10M、15M、20M



B (M8 カメラ) (オプション): M8延長ケーブル/長さ: 5M、10M、15M、20M

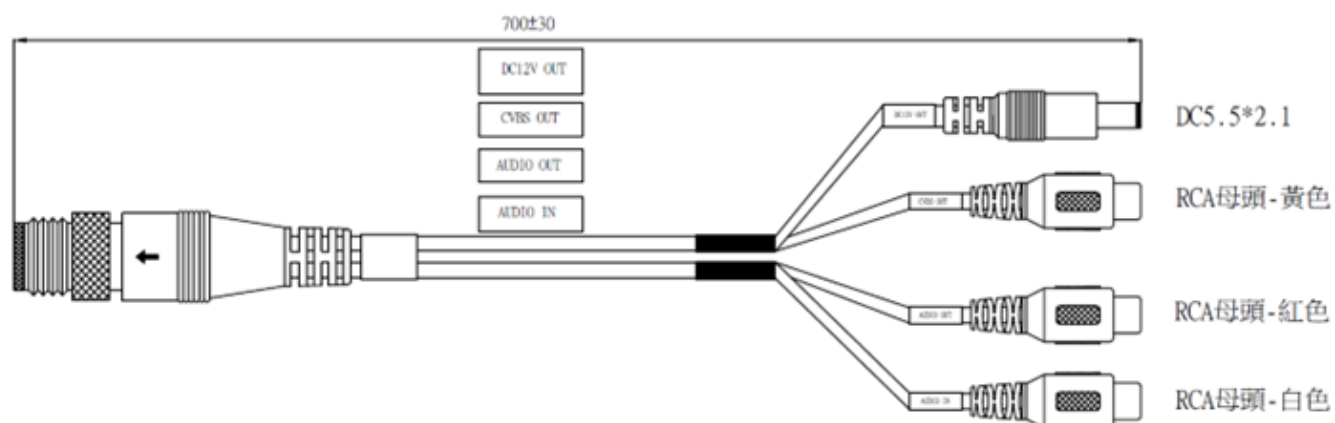


- ・VGA 出力ケーブル:(標準)

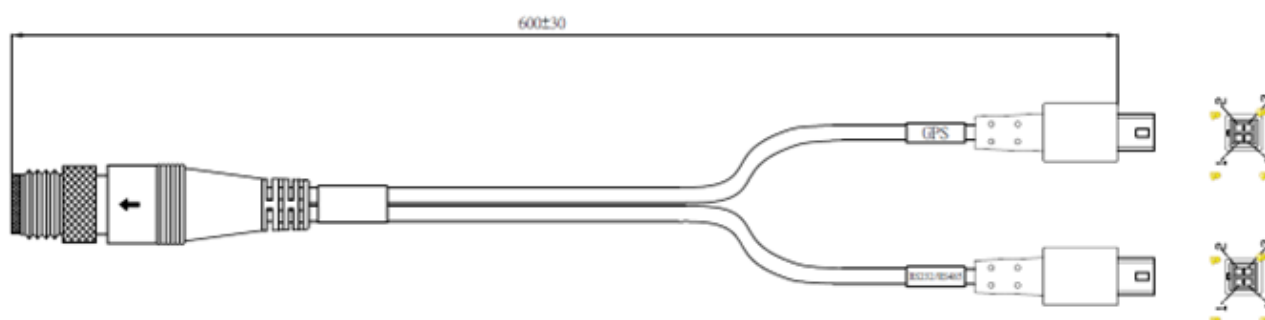


取扱説明書

- ・CVBS 画像出力ケーブル(モニター電源12V/0.5A付き)とオーディオケーブル：(標準)



- ・GPSコネクターとRS-232またはRS-482コネクター(工場出荷時のデフォルト RS-232)：(標準)

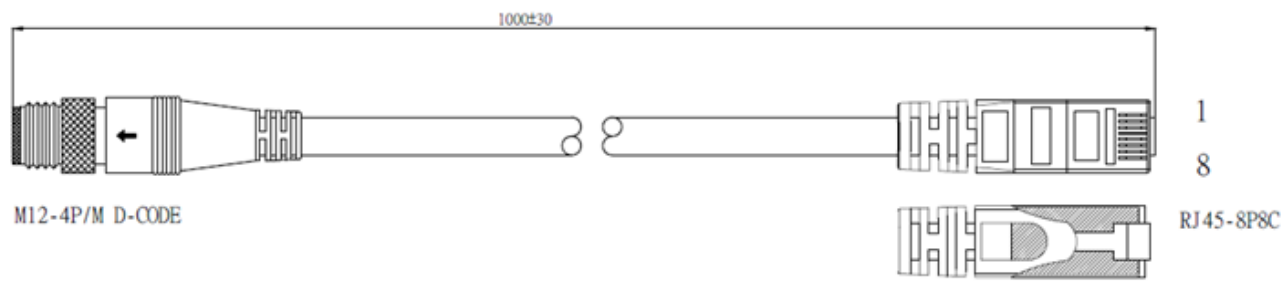


RS-232 転換ハーネル (標準) 付属

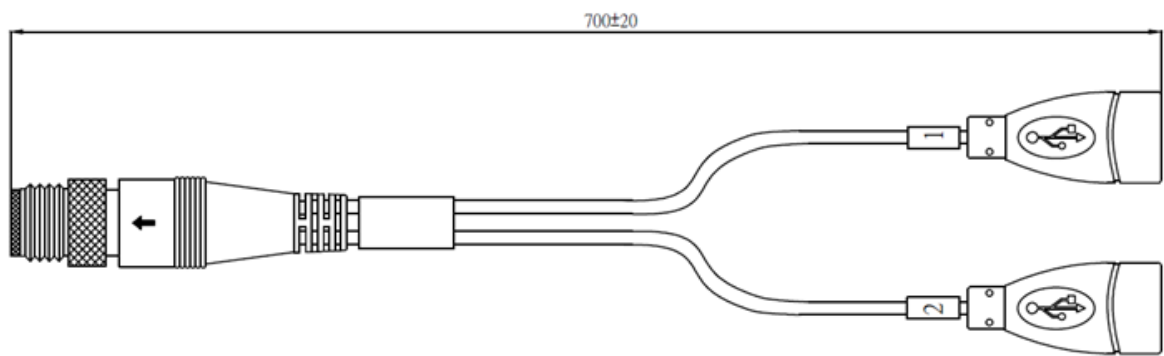


取扱説明書

・ランケーブル (標準)



・USBケーブル (標準)

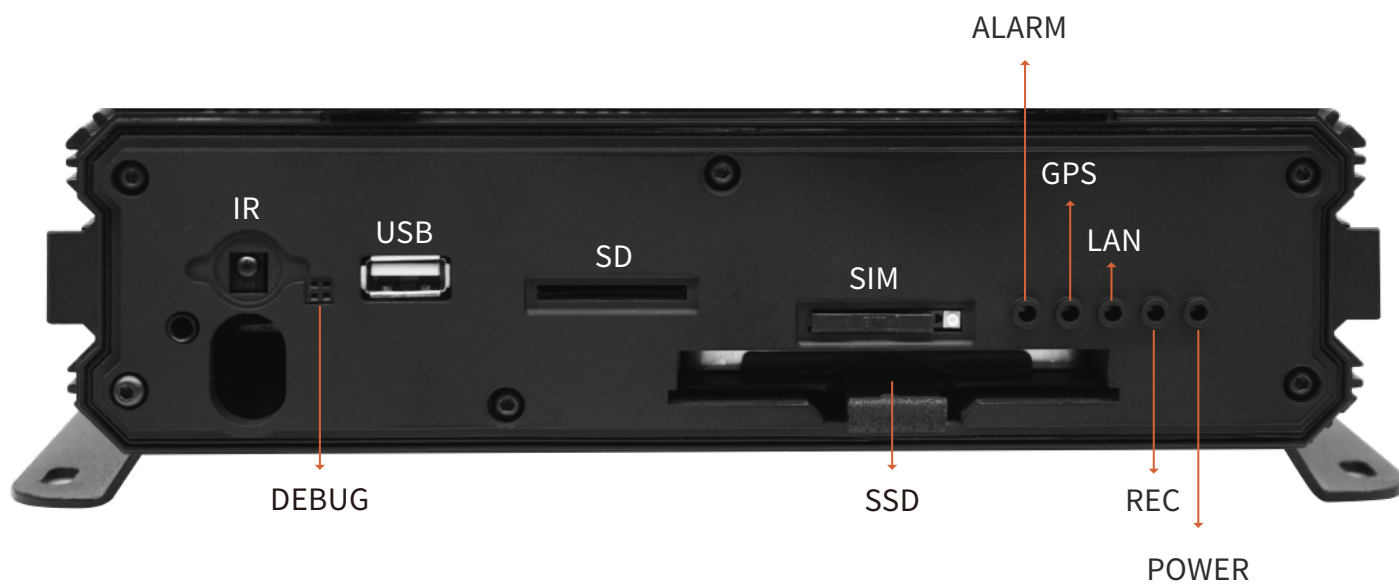


・アンテナ延長ケーブル (標準)



B. 製品外観

・フロントパネル



・バックパネル



* GPS/3G/WiFi機能はオプション

C. 装置の起動と装置電源を落とす

1. 装置起動

SSD を本体の SSD スロットに取り付けます。装置を起動し、30秒ほど待った後、録画指示ランプが点灯したら起動は完了です。

2. 装置オフ

電源を切って指示ランプが消え、電源オフが完了します。
この時だけハードディスクは取り外し可能です、記録されたファイルはコンピューターで読み込みます。

3. 指示ランプの定義

- ・電源指示ランプ(緑)

消灯、電源が供給されていないことを示します
常時点灯、電源が正常に供給されていることを示します。

- ・録画指示ランプ(赤)：

消灯、録画停止。
点滅、録画中
高速点滅、イベント録画中かファームウェア更新中

- ・インターネット通信ランプ(青)：

消灯、インターネット未接続
常時点灯、インターネット接続

- ・GPS指示ランプ(緑)：

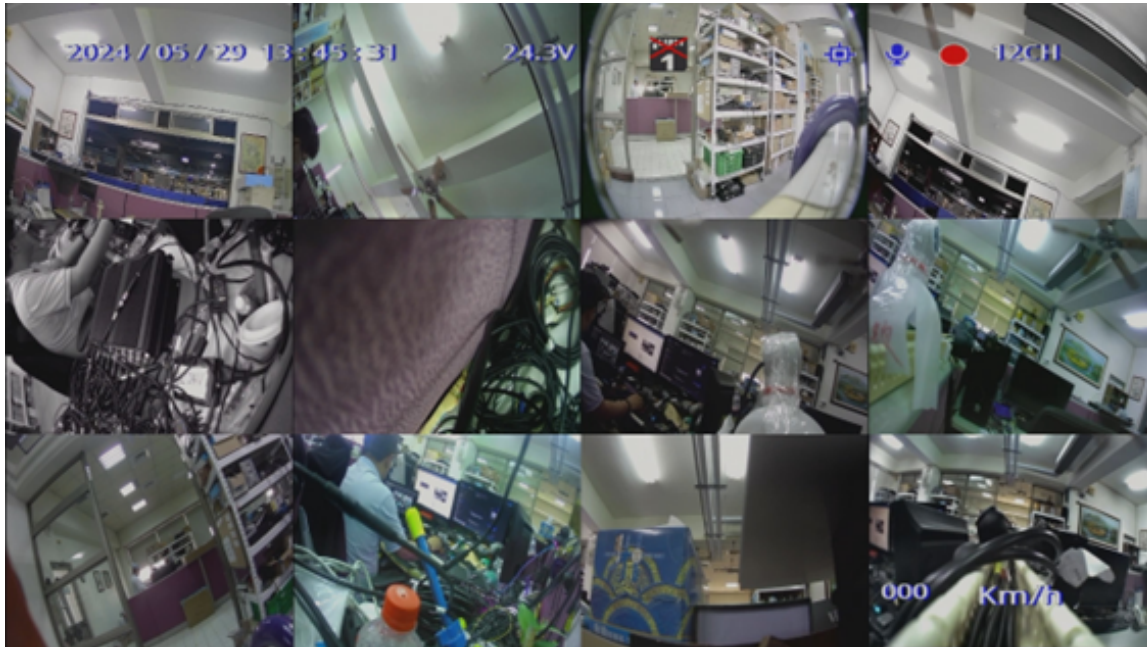
消灯、GPS未測位
常時点灯、GPS測位完了

- ・ALARM指示ランプ(緑)：

消灯、ALARM発生無し
常時点灯、ALARM発生中

D. システムメニューと操作

リアルタイム監視モード表示画面



リアルタイム監視モード - 12分割表示画面

(1) アイコン説明:



: 録画中、イベント録画時にエクスクラメーションマークで表示。



: GPS測位完了、未測位時にXで表示。



: 録音機能起動、録音オフ時にXで表示。



: インタネット接続完了。



: 警報トリガー起動

リモコン

車載DVRシステムには「本体でリモコンを用いて再生」と「パソコンにてビューワーソフトより再生」の2つの操作方法があります。



リモコンのボタンの紹介			
シリアルナンバー	機能敘述	シリアルナンバー	機能敘述
1	分割画面表示	7	確認ボタン
2	強制録画ボタン	8	巻き戻し
3	4分割全画面表示	9	早送り機能
4	スピーカーミュートボタン	10	再生モード、再生ボタン
5	Menu ボタン	11	一時停止ボタン
6	方向ボタン	12	停止ボタン、終了ボタン

リモコン異常チェック		✓ バッテリーのプラスとマイナスの極性を確認してください ✓ バッテリーが使い切れしていないか確認してください ✓ リモートのレシーバーが覆われていないか確認してください ✓ 近くで蛍光灯が使用されていないか確認してください
------------	--	--

取扱説明書

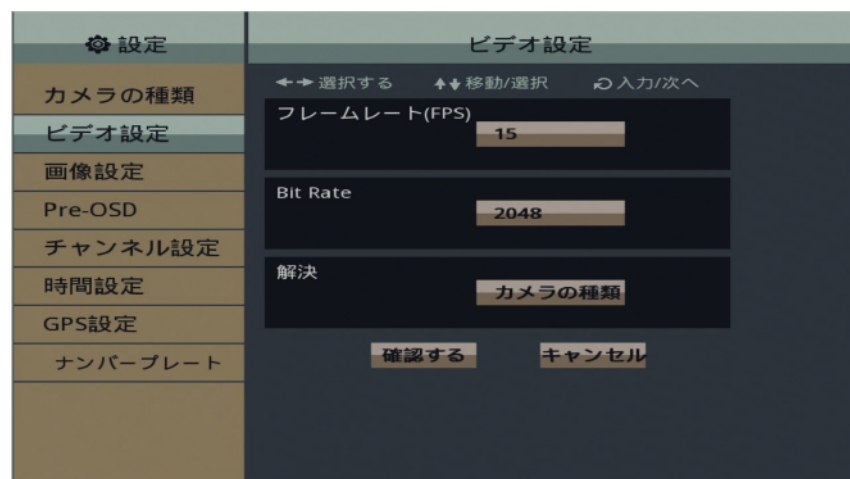


カメラタイプ:

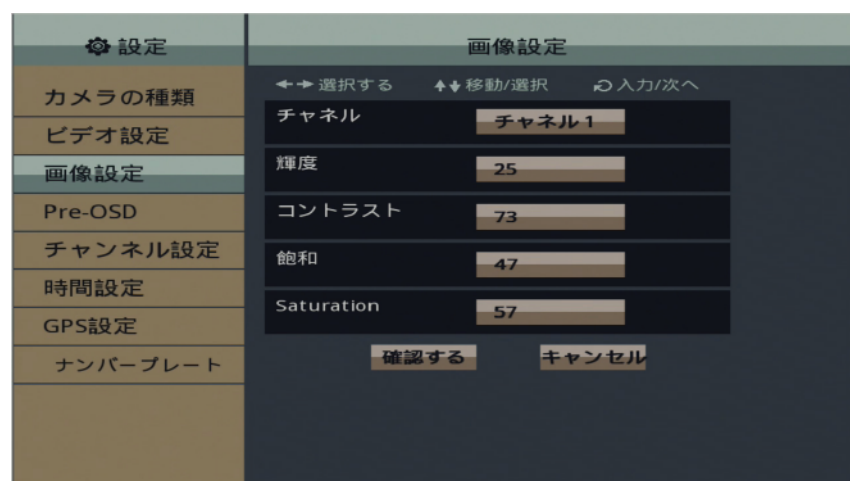
A.各チャンネルのカメラタイプ別の設定対応

B.1080P / 720P / D1対応

C.AHD / TVI対応



画像設定:フレームレートとストリームを設定可能(デフォルトは2M)



画像調整:

A.各チャンネルのカメラ画像調整対応

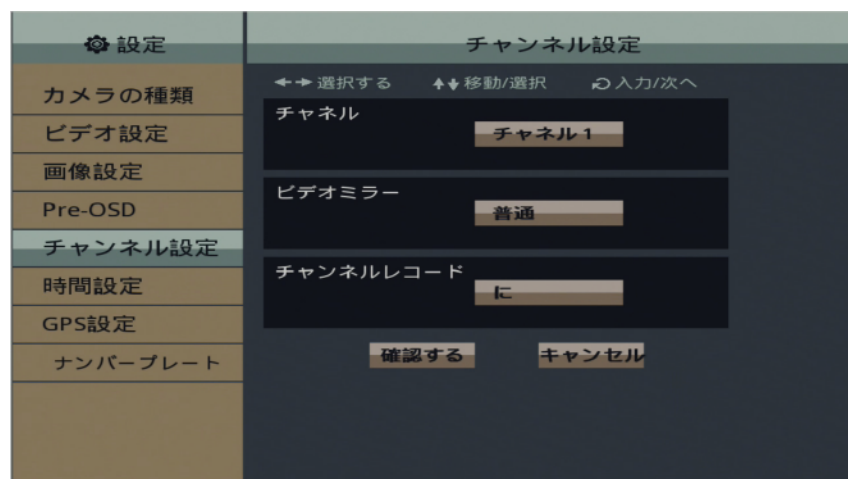
B.明るさ、コントラスト、色、彩度を調整可能

取扱説明書



字幕表示：デフォルトはオン。
(時間および関連機能が表示される)

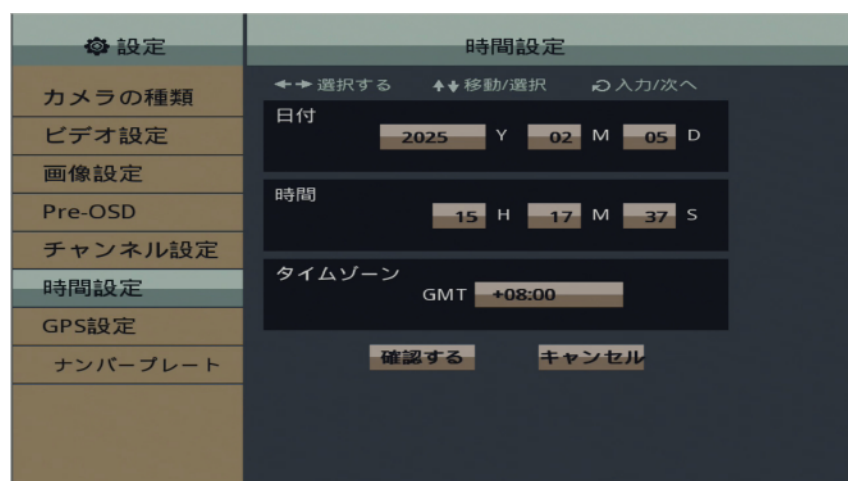
GPSと速度を重畳した画像
(デフォルトはオフ)



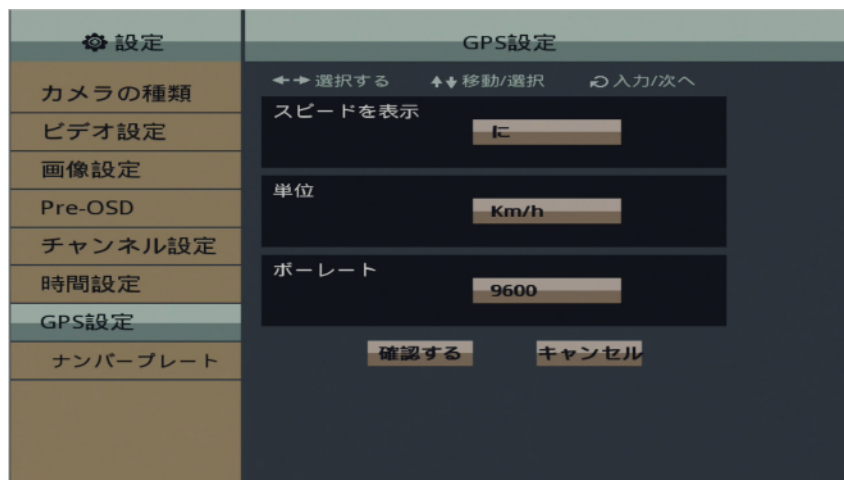
チャンネル設定：チャンネルごとに画像をミラーリングと録画するかどうかを設定します。

画像ミラーリング：デフォルトは正像；正像、ミラー、フリップ、フリップミラーを設定できます。

チャンネル録画：デフォルトはオン、録画をオフにすることもできます。



時間設定：日付、時刻、タイムゾーンを設定可能。



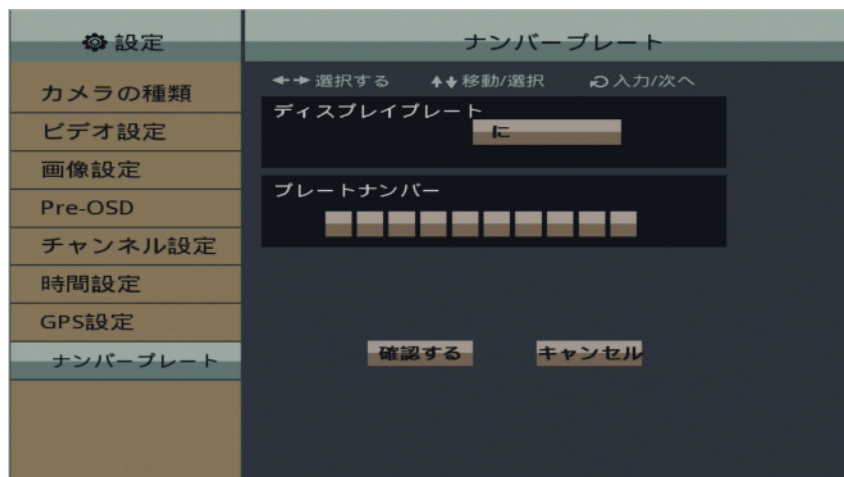
GPS 設定:GPS機能を設定します。

速度表示:デフォルトはオン、オフに
設定可能。

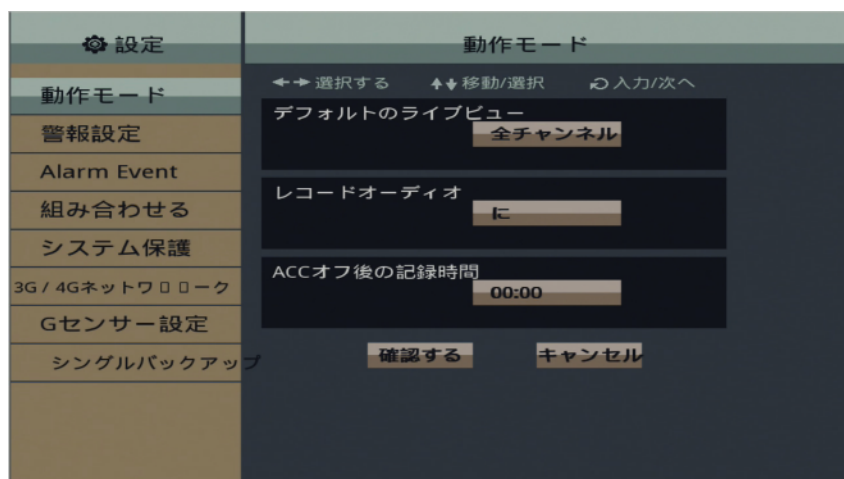
単位:デフォルトはKM/H

km/h、Mile/h、Kont選択可能

バウレート:デフォルトは 9600、4800
、9600、.....、115200 など
を選択できます。



ナンバープレートの設定:デフォルトは
表示。ナンバープレートを設定可能。



作業モード:

起動時のチャンネル表示:

デフォルトちは 12 分割。

1～4ch、5～8ch、9～12ch、1画面

表示可能(1～12chから1つを選択)

録音:デフォルトはオン、オフにする
こともできます。

エンジンを切った後の録画時間:

デフォルト は0で、5分、10分、....、24
時間を設定できます。「シャットダウン
しない」を設定することもできます。

設定	警報設定
動作モード	←→ 選択する ↑↓ 移動/選択 ↻ 入力/次へ
警報設定	警報 1 無し 優先度 1 3 警報 2 無し 優先度 2 3 警報 3 無し 優先度 3 3 警報 4 無し 優先度 4 3
Alarm Event	
組み合わせる	
システム保護	
3G / 4Gネットワーク	
Gセンサー設定	
シングルバックアップ	確認する キャンセル

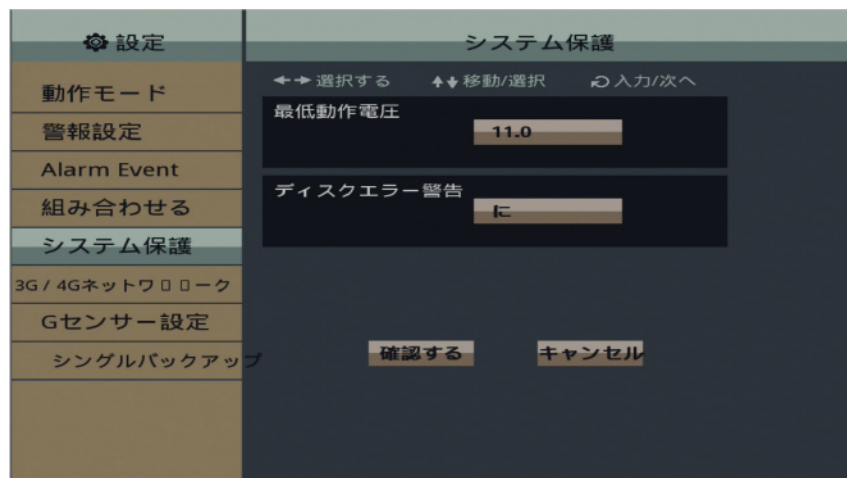
アラーム設定:アラームIN1～IN6の機能動作をチャンネル画面に映す設定します、および優先順位を決める(アラームを重複してはいけません)

設定	Alarm Event
動作モード	←→ 選択する ↑↓ 移動/選択 ↻ 入力/次へ
警報設定	警報 警報 1 イベント 無効にする
Alarm Event	
組み合わせる	
システム保護	
3G / 4Gネットワーク	
Gセンサー設定	
シングルバックアップ	確認する キャンセル

アラームイベント設定:アラームIN1～IN6のトリガーをイベント記録に設定します。デフォルトはアラームOFF。

設定	組み合わせる
動作モード	←→ 選択する ↑↓ 移動/選択 ↻ 入力/次へ
警報設定	First group 無し
Alarm Event	Second group 無し
組み合わせる	優先度 優先度 2
システム保護	Trigger action 12 CH
3G / 4Gネットワーク	Alarm Show Time 3
Gセンサー設定	確認する キャンセル
シングルバックアップ	

アラートセット:2セットのアラームが同時に作動時に、優先順位高いアラームがトリガー発生します。12 分割画面にて設定選択できます。



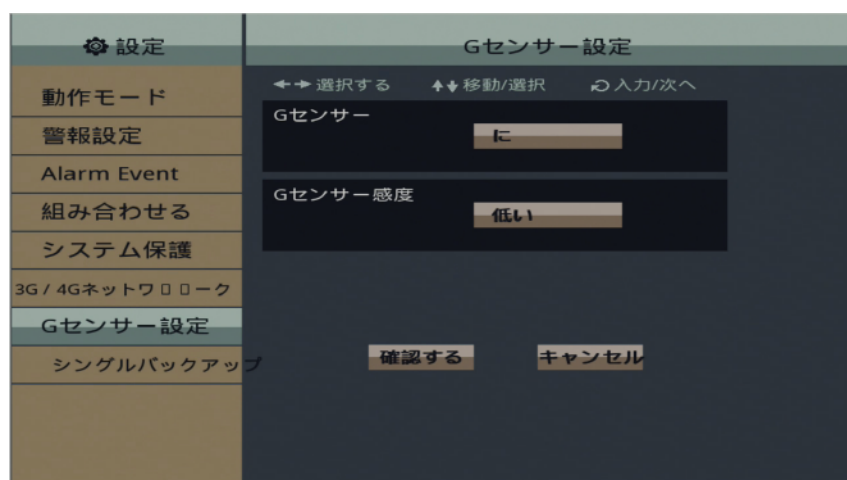
システム保護:

- A. 強制シャットダウン電圧: デフォルトは 11V、ACC OFF後に遅延機能が設定されている場合、B+電圧はこの電圧より低い時に、電源オフ遅延のカウントを終了し、本体をシャットダウンします。
- B. ディスクエラー警告: デフォルトはオンです。ストレージデバイスに異常がある場合は、連続ビープ警告が発せられます。



4G ネットワーク機能:

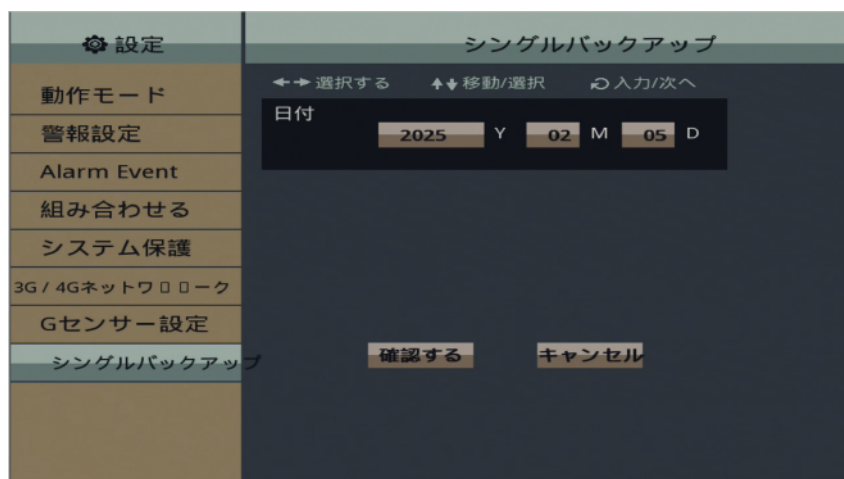
- 3G-CONFIGTOOLS ツールを使用して設定できます。
- (ファイルをUSBメモリに保存して、装置本体のUSBポート経由で設定)



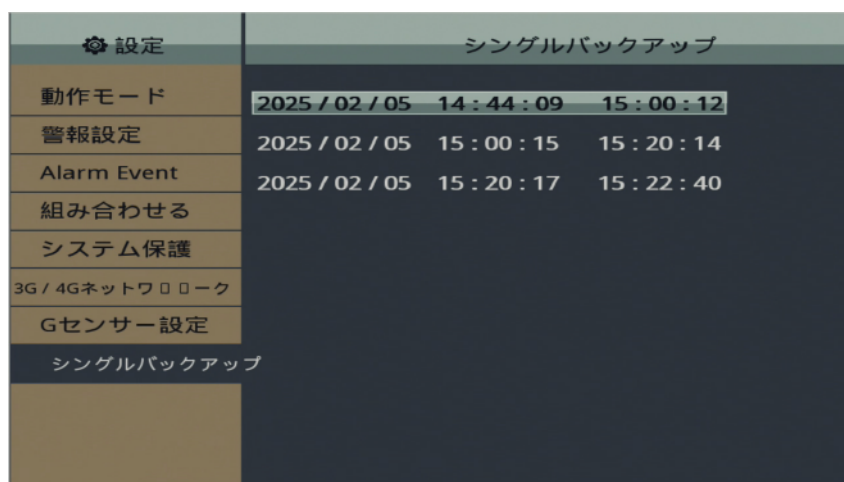
G値設定: Gセンサーの設定

- Gセンサーのデフォルトはオン、オフにすることもできます。
- Gセンサー感度、デフォルトは 低、感度を低、一般、高に調整できます。
- また、専用ビューワーソフトで設定することも可能です。

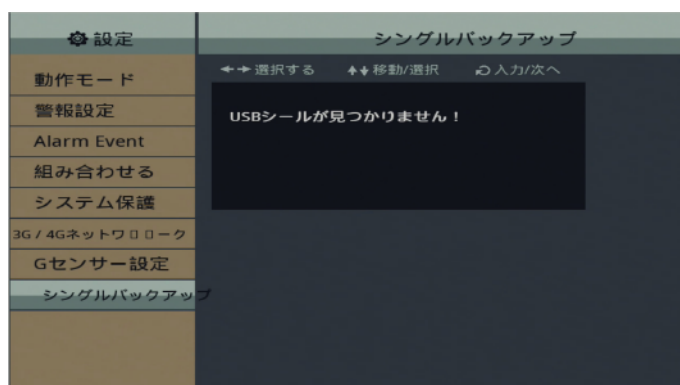
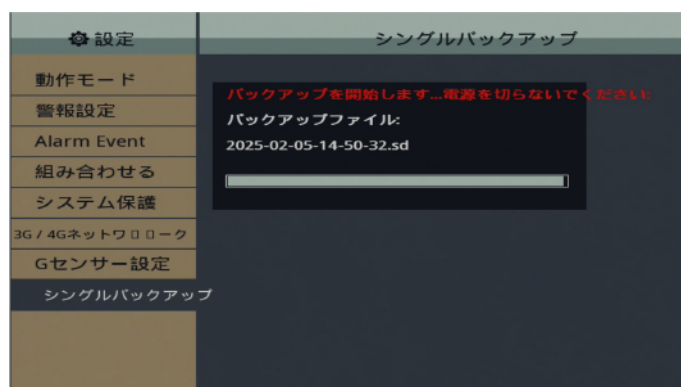
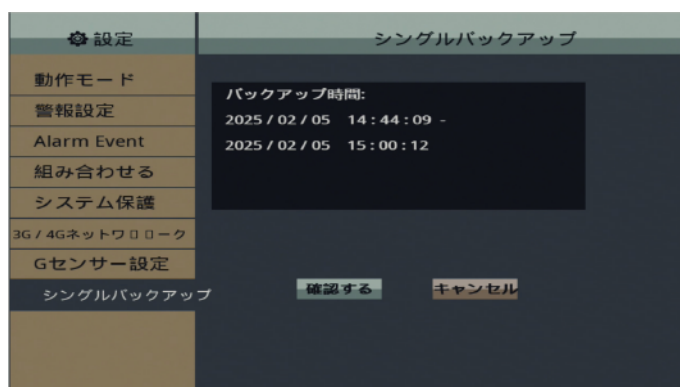
取扱説明書



単一データのバックアップ:



単一データのバックアップを
選択します

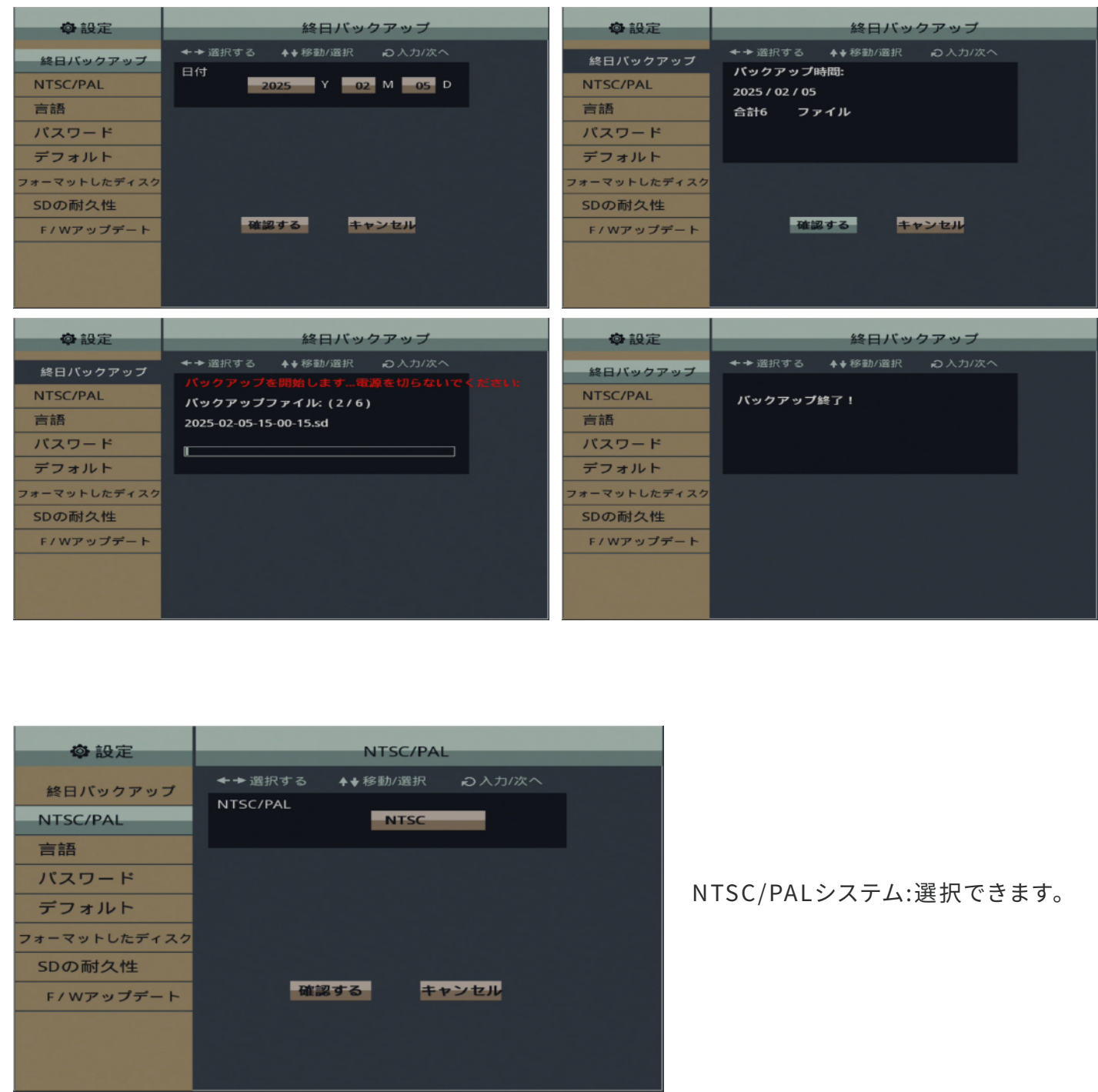


注意:

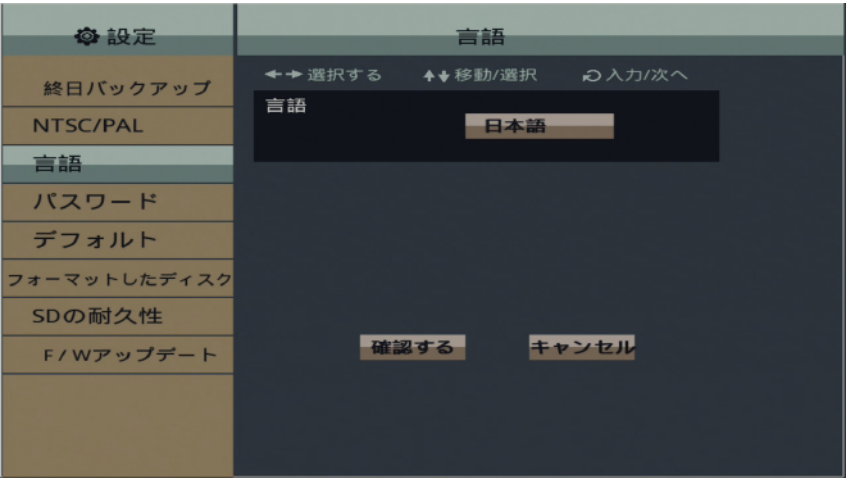
1. フロントパネルにあるUSBポートにUSBメモリを挿入
2. USBメモリのフォーマットFAT32です
3. バックアップが完了すると、専用ビューワーソフトでデータの再生ができます。

取扱説明書

終日のデータをバックアップ:USBメモリを挿入し、終日のデータをバックアップできる
容量が足りるか注意してください



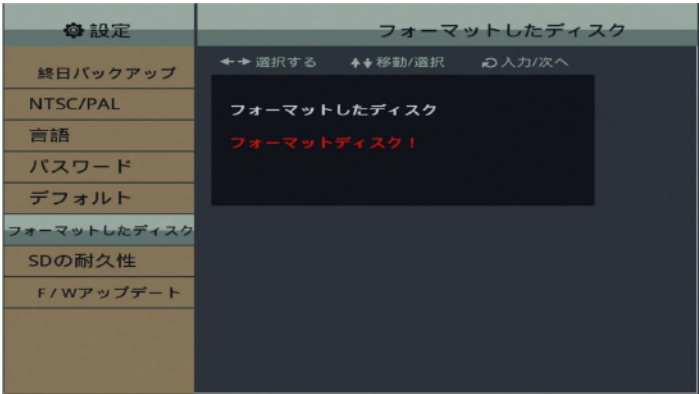
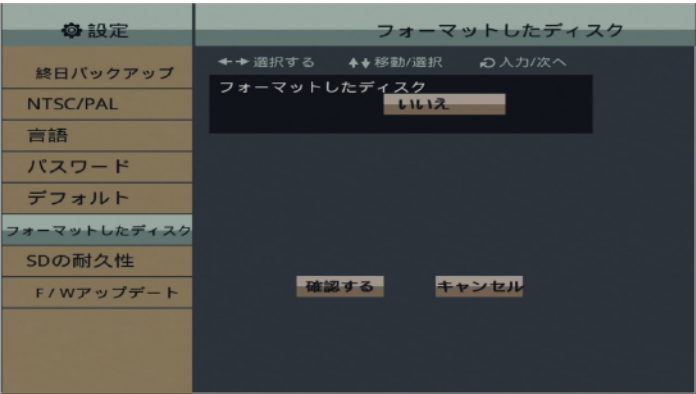
NTSC/PALシステム:選択できます。



言語切替:繁体字中国語、
簡体字中国語、英語、
日本語で選択可能



デフォルトに復元:
パラメータを設定してデフォルト値を
復元する, YES に設定した後、確認
ボタンを押したら復元完了。



保存媒体のフォーマット:YESを選択し、確認ボタンを押してフォーマットします。完了後、
システムに戻って映像録画します。

取扱説明書

ソフトウェアのアップデート:現在のソフトウェアバージョンを確認できます
アップデートのファイルをUSBメモリに保存し、装置前面パネルのUSBポートに挿入して、
アップデートを行います。YESを選択し、確認ボタンを押します。



取扱説明書

再生モード:

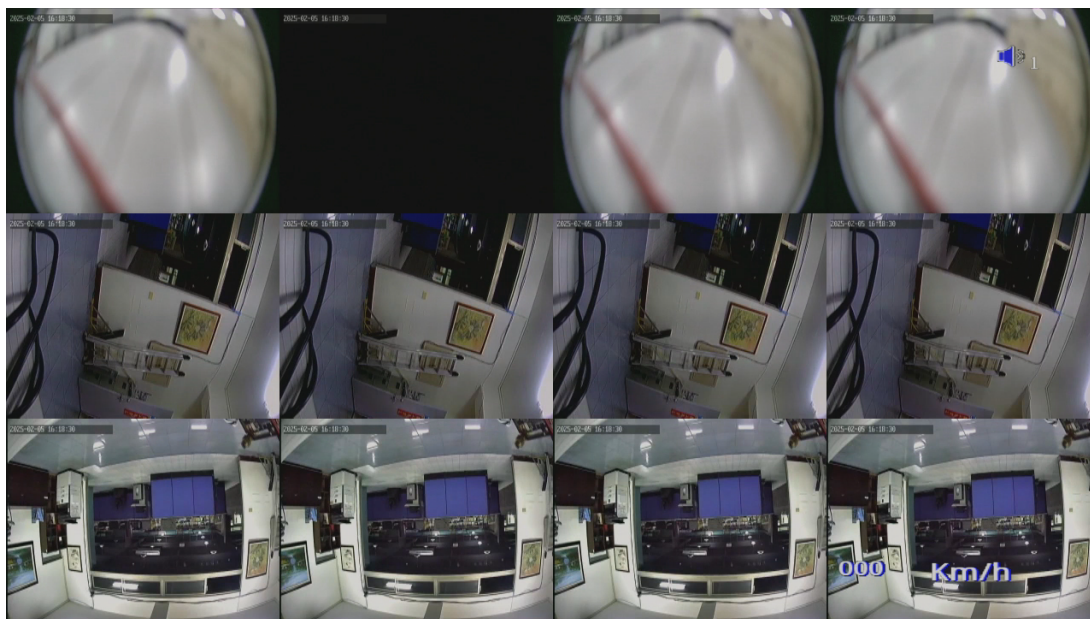
再生方法は本体側Dでの再生とPC側での再生の2つ方法があります。

・本体側再生

(1)ライブモニタリングモードで表示された画面で Play キーを押すと、再生画面が表示されます。

(2)検索方法を選択し、確認ボタンを押して録画ファイルリストに入ります

再生	日付	始まる時間	終了時間
イベント記録を選択 ↑↓ 選択する ←→ 前/次 ↺ 再生	2025 / 02 / 05	16 : 17 : 43	16 : 19 : 38
▲ 選択する ▼ 00001 / 00004	2025 / 02 / 05	16 : 20 : 16	16 : 22 : 04
	2025 / 02 / 05	16 : 22 : 06	16 : 23 : 15
◀ ページ ▶ 00001 / 00001	2025 / 02 / 05	16 : 23 : 54	16 : 24 : 42



(3)再生したいファイルを選択し、確認ボタンを押して再生画面に入ります

取扱説明書

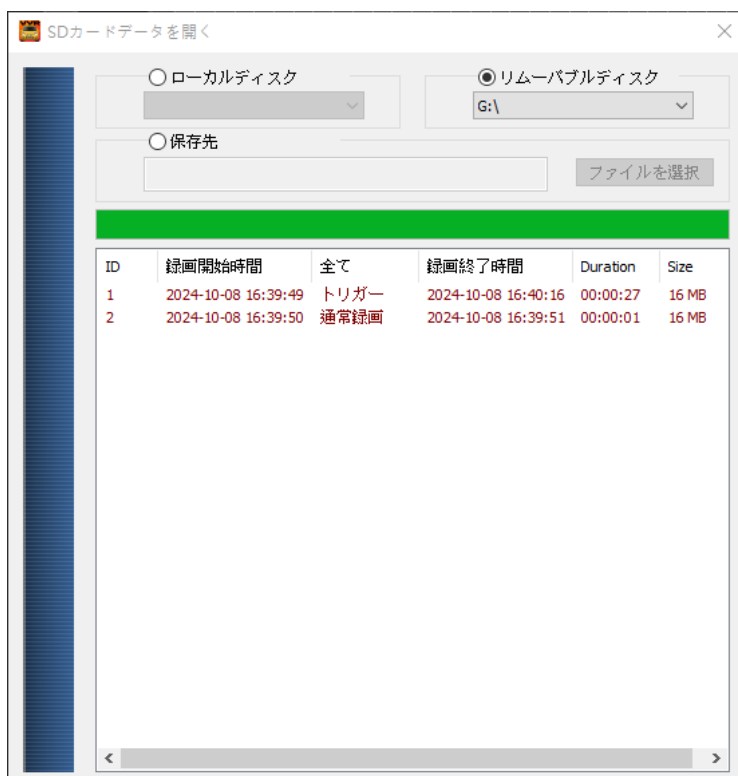
・PC側再生：ハードドライブを読み取って再生する

(1) コンピュータを使用して、録画ファイルが保存されているハードドライブを読み取ります。

次に再生ソフト「IBoxPlayer2.exe」を実行します。

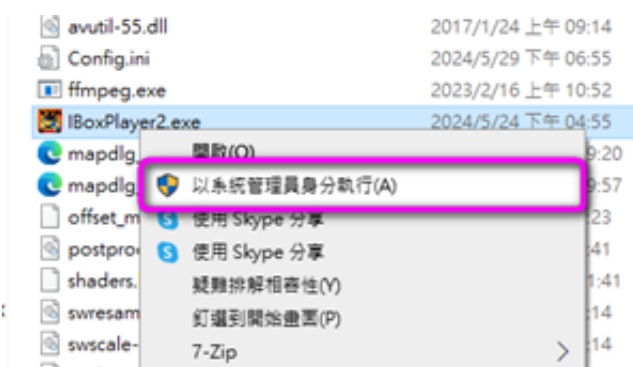
(2) 「動画を再生」  をクリック、再生メニュー画面が開きます。

(3) ハードドライブを選択すると、録画ファイルリストが表示され、再生したいファイルをクリックして再生を開始します。



録画リスト

(注:Windowsオペレーティングシステムの使用時に録画リストを読み取れない場合、
解決方法:iBoxPlayer2 の 実行アイコンを右クリックして、専用ビューワーソフトを
管理者として実行します)



E. PC プレイヤー

専用ビューワーソフトを実行すると  IBoxPlayer2.exe 、再生画面が次の図のようになります。

*注:このソフトウェアを実行するには DirectX 11 以上が必要です。



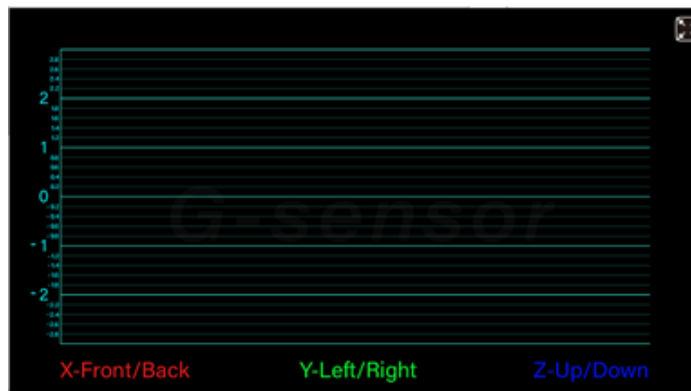
(1).再生ツールバー

- | | |
|--|--|
|  : 今再生中の映像をスナップショット |  : 一時停止の状態で次のフレームを表示。 |
|  : 設備関連の設定 |  : 次の映像を再生する。 |
|  : 映像のバックアップ | |
|  : 保存装置の読取、バックアップデータを再生 | |
|  : 保存装置のフォーマット、言語設定 | |
|  : 1個前の映像を再生する。 | |
|  : 一時停止の状態で前のフレームを表示。 | |
|  : 再生の巻き戻し。 | |
|  : 再生中の映像を一時停止。 | |
|  : 再生中止 | |
|  : 再生開始。 | |

取扱説明書

(2).その他のツールバー

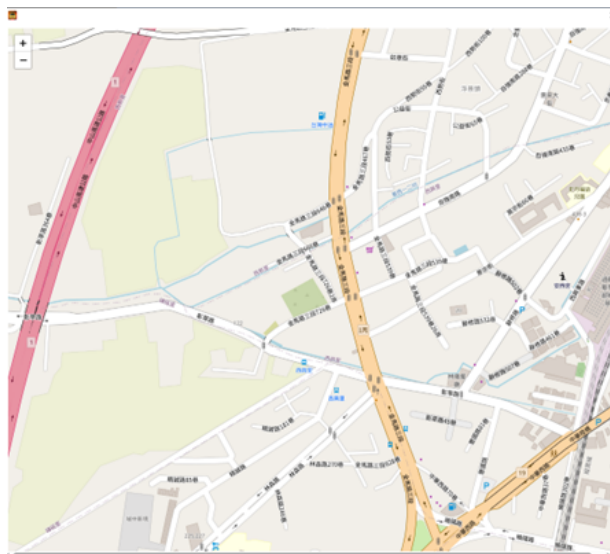
A.G センサーのアイコン



B.MAP 北向き矢印アイコンは、 (緯度と経度の座標)



MAP と北向き矢印を呼び出します。

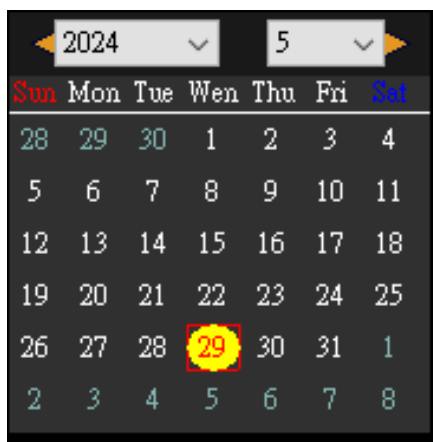


C.音量の調整と速度表示

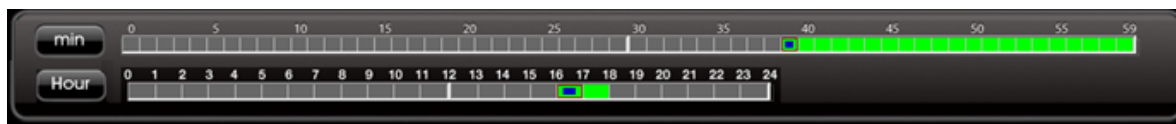


取扱説明書

D. カレンダー: カレンダーにより、日付、時、分を選択し、現状の録画データを素早く再生できます。



E. 時間アイコン



F. 再生速度と再生のプログレスバー

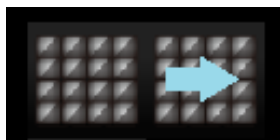


再生速度: デフォルト 1x

再生のプログレスバー: 進捗バーに指示した時間に再生できる

G. 分割画面アイコンの紹介

16 分割、次の 16 分割



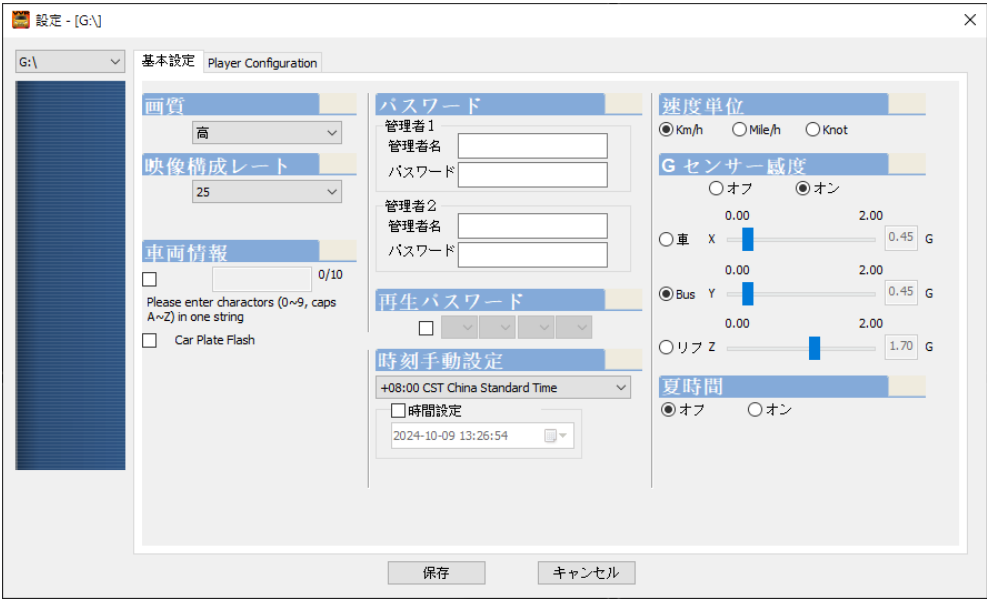
取扱説明書

PC側再生:

 アイコンをクリックして設定画面を開く。設定を変更して適用させた後、保存装置を本体に戻せば、ユーザーが設定した形式で録画できる。

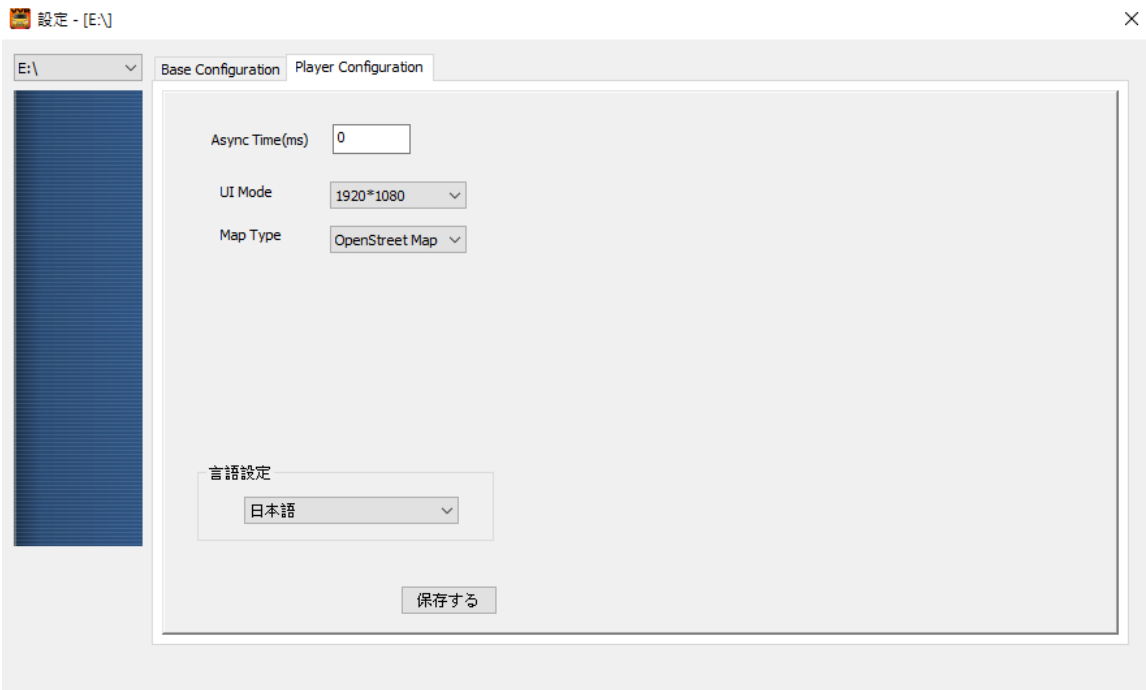
注: PCでハードディスクを読み込ませたい場合、SATAからUSBへの変換ケーブルを使ってください。

a. 時間アイコン



Async Time(ms)	カメラの表示秒数が異常に飛ぶ場合、これを設定してビデオを同期できます。
UI モード	1920*1080、1440*800、1024*576
Map Type	OpenStreet Map、Google Map
OSD言語設定	言語設定 日本語 English 简体中文 Deutsch Español Genérico le français Italiano 日本語 lietuvių kalba język polski Português-Brasil русский язык Türkçe 繁體中文 ไทย

b. player configuration



映像画質	録画の画質と解像度を選ぶ。高い、正常、低いの3種が選べる
映像フレームレート	解像度設定範囲：5～30フレームレート。
本体情報	ナンバープレートやドライバーの名前を入力。 注：本体の情報を変更する際は読取専用チェックを入れてください。
パスワード	専用ビューワーソフトでハードディスクにパスワードをかけ、他人がデータを取り出すことを防ぐ。パスワードは15桁が上限。 パスワードの設定後、データの使用、設定変更、フォーマットするにはパスワードが必要。 *注：パスワードを設定する際は大文字小文字に留意してください。 パスワードは適切に保管して忘れないようにしてください。
タイムゾーン	グリニッジ標準時、必要なタイムゾーンを調整。
速度単位	表示したい速度の単位を設定。
G-sensor感度	車種の違い、運転の習慣によってG-sensorモードと感度設定を調整。
日光節約時間	夏時間を実施する国に適する。

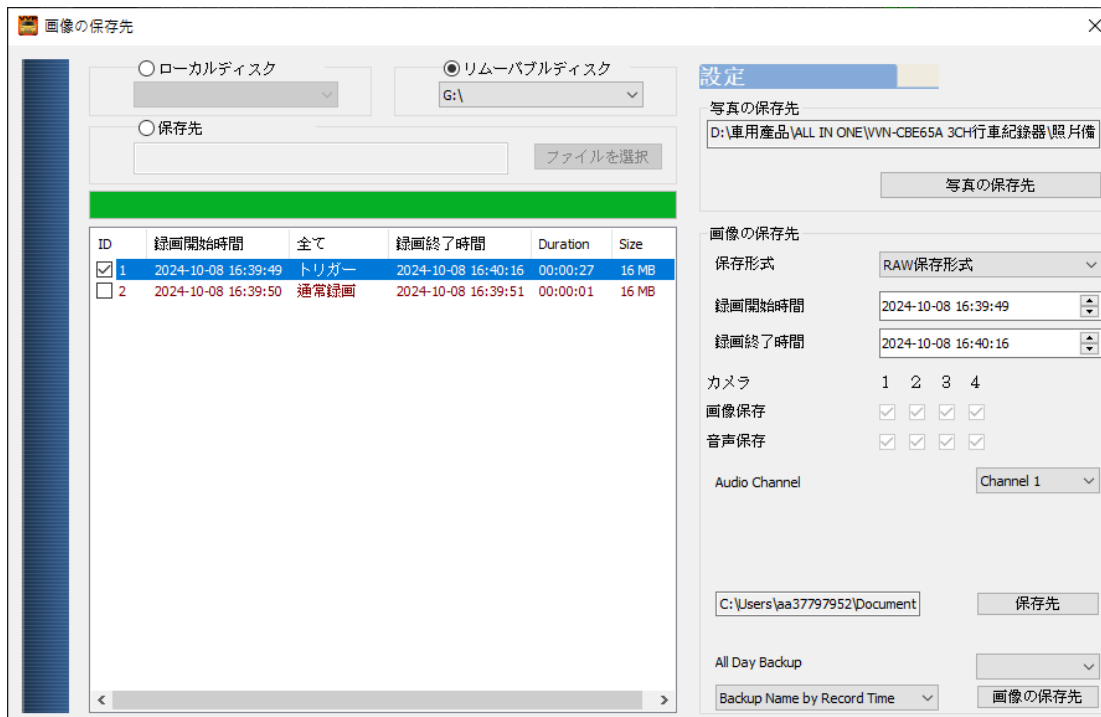
取扱説明書

バックアップ

保存媒体内の録画ファイルをPCに保存し、常に再生できます。



ディスクのバックアップを選択すると、バックアップメニュー画面を表示します。



- 1.映像チャンネルを選択します。
- 2.ファイルの時間帯にチェックを入れる
- 3.バックアップの格式を選ぶ
- 4.バックアップの時間を選び、バックアップ開始

注：SDファイル格式でバックアップすると、ファイルには時速と方位、経緯度及びG-SENSORなどのデータを記録される。また、*.avi形式でのバックアップの場合には、録画と音声のみが記録されるため、SD格式でバックアップするのをお勧めです。

F. フォーマット

ハードディスクのフォーマット

どのような状況でハードドライブをフォーマットする必要がありますか？

保存媒体と本体装置に必要なフォーマットが違いう時にハードドライブをフォーマットする必要があります。

市販品や既に使用中のハードディスクは必ずフォーマットを行ってから車載装置に使用します。

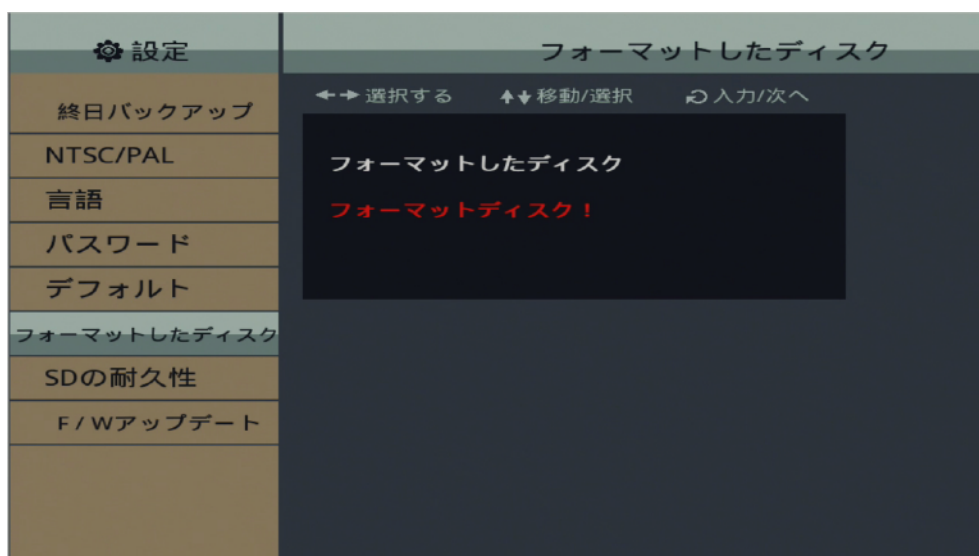
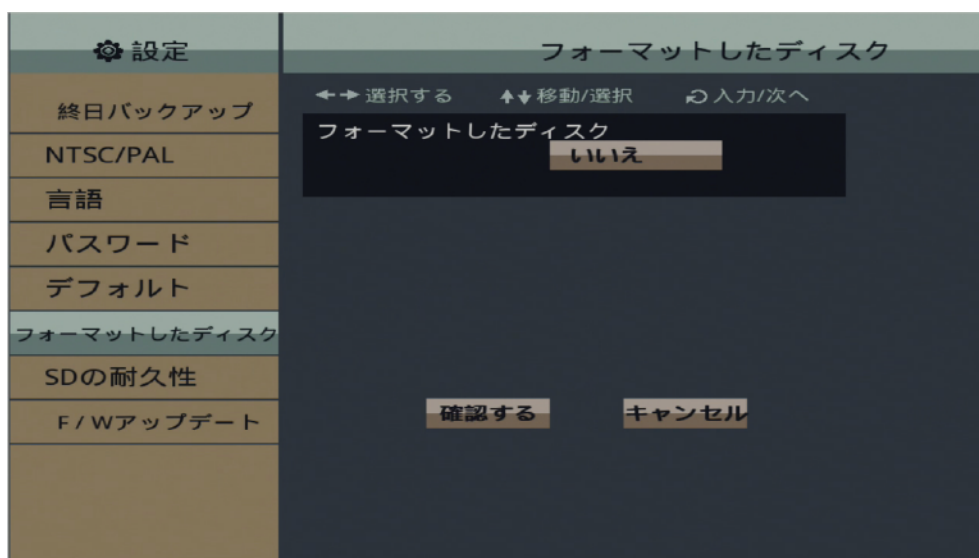
***フォーマットの前は、ハードディスク内に重要な資料がバックアップされてないか
注意してください。**

ハードディスクのフォーマット方法は本体側とPC側があります。

(1) 本体側でのフォーマット

本体側のフォーマット手順は以下の通り：

配置設定>保存装置設定>フォーマットを選ぶ

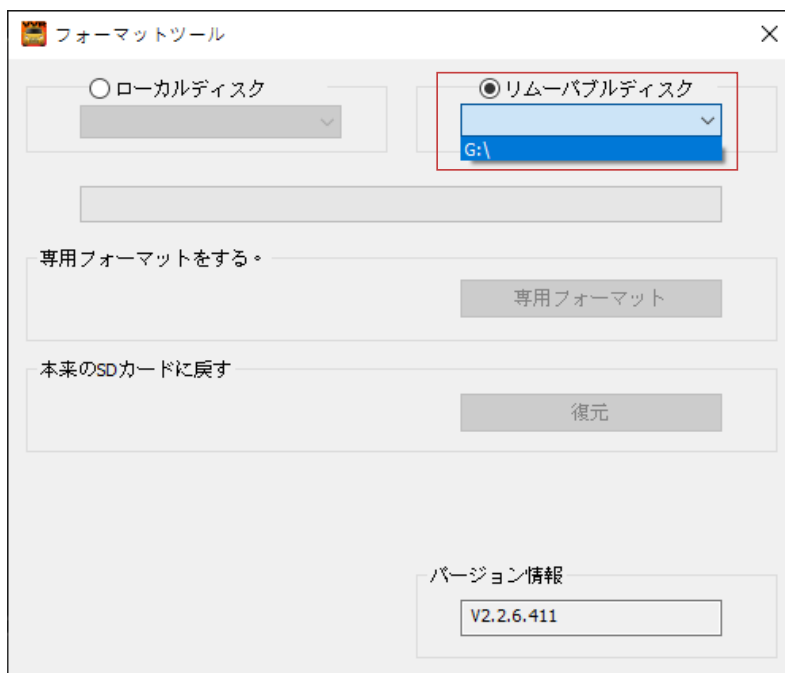


(2)PC側でのフォーマット

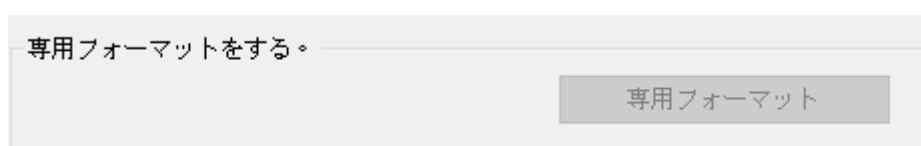
PCでハードディスクをフォーマットする手順は次の通り：

手順1:保存媒体を本体から取り外した後、PCよりその保存媒体を認識して、専用ビューワソフトで再生します。

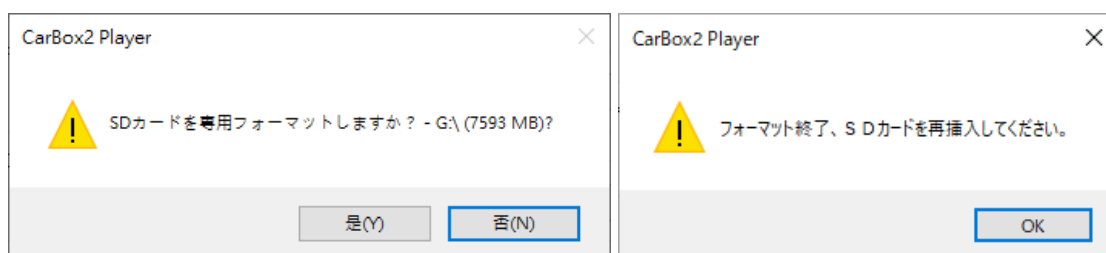
手順2:  フォーマットツールをクリックして フォーマットツールメニュー画面に入ります。



手順3:[フォーマット] ボタンをクリックします。



手順4:「はい」を選択します。





<https://www.vacron.com.tw>

Made in Taiwan
